

令和3年度度関東高等学校ハンドボール大会
兼第67回関東高等学校ハンドボール選手権大会
茨城県予選大会兼住尾杯大会 要項

- 1 主 催 茨城県高等学校体育連盟、茨城県教育委員会、（公財）茨城県体育協会
- 2 主 管 茨城県ハンドボール協会
茨城県高等学校体育連盟ハンドボール専門部
- 3 期 日 令和3年 5月 7日（金）～ 5月9日（日）
- 4 会 場 鉾田総合運動公園体育館 麻生運動広場体育館 麻生高校 鉾田第二高校
藤代紫水高校
- 5 競技規定 令和3年度（財）日本ハンドボール協会競技規則による。
但し、選手20名登録16名出場を認める。
- 6 競技方法 トーナメント方式で行い、ベスト8より敗者復活戦を行う。
- 7 種 目 男子の部、女子の部
- 8 引率・監督 (1) 引率責任者は、当該校の職員（但し、事務職員・技術職員を除く）とし、
参加選手の行動に対して責任を負うものとする。
(2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、
傷害保険・賠償責任保険（スポーツ安全保険）に必ず加入することを条件とする。
- 9 大会参加資格
 - (1) 参加生徒は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期過程を含む）に在籍する生徒であること。
 - (2) 参加生徒は、県高体連に加盟している高等学校生徒で、（公財）日本ハンドボール協会に加盟登録されているチームであること。
 - (3) 年齢は、2003年4月2日以降に生まれたものとする。（2003年は年度で移行する）ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は、1回に限る。
 - (4) チームの編成は、全日制、定時制、通信制各課程の生徒による混成は認めない。
 - (5) 統廃合の対象になる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - (6) 転校後6ヶ月未満のものは、参加を認めない。（外国人留学生もこれに準じる）ただし、一家転住等やむをえない場合は、当該専門部長の承認があればよい。
 - (7) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
 - (8) 参加資格の特例
ア 上記（1）（2）に定める生徒以外で、該当競技実施要項により、大会参加資格を満たすと判断され、県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 上記（３）アの但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- １ 学校教育法第８２条の２，８３条の学校に在籍している生徒であること。
- ２ 以下の条件を具備すること。

（１）大会参加を認める条件

ア 県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあっては、地区の予選会から出場が認められ、専門部での出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

（２）大会参加に際し守るべき条件

ア 県高等学校体育大会開催規準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

（９）大会参加制限

１ １チームの人員は、監督１名、役員３名、選手１６名以内とする。

２ 外国人留学生の出場枠について（出場枠を設けている専門部に適応）

ア 学校教育法第１条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。

イ 在籍校が、県高等学校体育連盟に加盟していること。

ウ 年齢は、２００３年４月２日以降に生まれたものとする。（２００３年は年度で移行する）

エ 短期留学は認めない。

オ 大会登録人数２０名のうち２名までとし、競技出場も７名中２名までとする。

１０ 申込および締切

締切 令和３年 ４月 ３０日（金）

申込先 各地区委員長に申込書を提出（原本１部＋コピー４部）

抽選会 令和３年 ４月 ３０日（金） 受付１３時 麻生高等学校